

# 令和3年度 地域防災対応力強化研修 実施要項

## 1 目的

時期、場所、内容を問わず突発的に発生する各種災害等(や感染症等)の緊急時に備え、平常時より地域・専門職・職能団体等として予め何を備え、関係者がいかに各々の役割を意識し連携しておくべきかを整理する。

防災・減災に関する意識を高めていくことで、持続可能な地域づくりを目指すとともに、災害の有無に関わらず災害弱者と言われる方達も含めた地域住民がいかに安心して生活し続けることが出来るか、過去の大規模災害での経験から見えた課題や気づきを共有して考える機会とする。

キーワード：災害 SW、防災力、平常時からの備え、避難行動要支援者名簿、災害協定、BCP 要支援者への避難計画、ハザードマップ、リスクマネジメント、DWAT(地域版)

2 主催 社会福祉法人富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ

3 共催 富山県社会福祉法人経営者協議会

## 4 後援

富山県地域包括・在宅介護支援センター協議会、富山県老人福祉施設協議会、富山県知的障害者福祉協会、(公社)富山県精神保健福祉協会、(一社)富山県介護支援専門員協会、富山県民生委員児童委員協議会

5 日時 令和3年10月13日(水) 13時00分～17時00分

6 定員 80名程度

7 会場 パレブラン高志会館 2階 嘉月の間 (会場定員182名)  
富山市千歳町1-3-1 TEL:076-441-2255

## 8 参加対象

市町村社協、県・市町村行政(福祉・防災担当課)、市町村民児協、社会福祉法人役職員等、地域包括支援センター、居宅介護支援事業所、DWAT 登録者、民生委員・児童委員、消防局、各種関係機関

9 参加費 1,000円

10 申込方法等 別紙申込書に必要事項を記載のうえ、令和3年9月22日(水)までに FAX または郵送にてお申込みください。

11 参加決定 令和3年10月4日(月)までに、参加決定通知を送付いたします。

## 12 プログラム

時間	内容	講師等
12:30	受付	
13:00	開会・オリエンテーション	
13:05 (30分)	<b>【講演1】</b> 「地域における災害時福祉支援体制の整備について」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 他県被災地の被災後の現状、災害ソーシャルワーク、防災と福祉</li> <li>・ 地域包括等による避難計画の周知等、昨今の国の動向</li> <li>・ 災害等に備えた地域、法人としてのリスクマネジメント</li> </ul>	富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏
13:35 (60分)	<b>【講演2】</b> 「東日本大震災経験から考えるコミュニティづくりの重要性と平時における取り組み」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 生活支援相談活動から見える震災後の地域の現状と課題</li> <li>・ (平時からの)コミュニティづくり、繋がる・見守るための仕組みづくりの重要性とポイント、地域力による減災の可能性</li> <li>・ 震災前後による地域づくり(つながり)に関する意識の変化(住民、専門職)</li> </ul>	(福)宮城県社会福祉協議会 主幹 北川 進 氏
14:35 (15分)	休憩	
14:50 (130分)	シンポジウム 「災害に対応し誰もが安心して生活できる地域づくりのために出来ること」	
20分 (報告)	富山市民生委員児童委員協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 避難行動要支援者名簿の整備</li> <li>・ 個別支援から地域支援、マップづくり</li> <li>・ 連携団体との協働避難訓練(障害者等)</li> </ul>	(シンポジスト) 富山市民生委員児童委員協議会 会長 山村 敏博 氏
20分 (報告)	(福)射水市社会福祉協議会 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 射水市、青年会議所、ライオンズクラブとの災害協定締結に至った経緯と協定する事でのメリット、苦労点(令和元年5月、射水市と射水市青年会議所との協定)(令和2年10月・・・ライオンズクラブとの協定)</li> <li>・ 地域全体としての災害対応力を高めるための今後の取り組みビジョン</li> </ul>	(福)射水市社会福祉協議会 地域福祉課長 野田 智 氏

20分 (報告)	(福)戸出福祉会 <ul style="list-style-type: none"> <li>地域における公益的な取組みとして実施している取組み紹介</li> <li>社会福祉法人として、災害発生時に地域で果たすべき役割と備え</li> <li>地域包括支援センターや居宅介護支援事業所が、要保護高齢者にハザードマップを周知する中で感じる危機感等について</li> </ul>	(福)戸出福祉会 特別養護老人ホーム だいが苑 施設長 野村 幸伸 氏
40分 (質疑 応答)	各シンポジストの報告を受け、助言者、コーディネーターからコメント、ディスカッション	(助言者) (福)宮城県社会福祉協議会 主幹 北川 進 氏
30分 (総括 講義)	総括講義	(コーディネーター兼 総括講義) 富山県福祉カレッジ 学長 大橋 謙策 氏
17:00	閉会	

### 13 その他

- 新型コロナウイルス感染拡大状況により、内容が変更・中止となる場合があります。中止等する場合は、各受講者(申込担当者)へ事前にご連絡いたします。
- 会場は受講者の間隔をとり、学校形式で実施します。
- 研修会場では、マスクの着用、こまめな手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底などの感染対策をお願いいたします。
- 研修会場では定期的な換気を行うため、体温調節可能な衣類をご準備ください。
- 発熱や咳、風症状がある方は参加をご遠慮ください。

### 14 問合せ先

富山県社会福祉協議会 富山県福祉カレッジ教務課 (越村)  
〒930-0094 富山県富山市安住町 5-21 富山県総合福祉会館2階  
TEL:076-432-6513 FAX:076-432-6516  
Eメール:koshimura@wel.pref.toyama.jp